

## ①がん予防

分野別アウトカム	指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価	評価結果
がん罹患率減少	がん罹患率（全部位）	367.3 (H25)	385.7 (H27)	408.3 (H28)	397.6 (H29)	405.6 (H30)	399.6 (R1)	減少 (12年後 評価)	D	・がん罹患率は基準値より増加傾向であるが12年後評価としているため、引き続きモニタリング評価を行う。 また、「がんに関する正しい知識を持っている」の指標としてがん検診の受診率を設定していたが、より適切な指標に変更することが必要。
がんに関する正しい知識を持っている	過去1年間にがん検診を受診した人の割合 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	36.2% 39.0% 38.5% 40.9% 38.3% (H28)	— —	— —	42.1% 42.8% 44.8% 45.1% 42.5% (R1)	— —	— —	50%	B B B B B	

## ②がんの早期発見

分野別アウトカム	指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価	評価結果
がんが早期の段階で発見されている	がん検診における早期がんの割合 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	44.2% 39.1% 27.3% 48.1% 21.1% (H27)	56.0% 60.9% 35.7% 58.2% 18.2% (H28)	56.1% 54.1% 18.2% 62.5% 30.8% (H29)	60.8% 66.7% 20.0% 46.4% 14.3% (H30)	52.3% 62.8% 12.5% 59.2% 0.0% (R1)	44.4% 59.4% 18.2% 55.8% 0.0% (R2)	増加	C A D A E	・がん検診における早期がんの割合は肺がんと子宮頸がんにおいて低下しているが、これはがん発見率の許容値が他のがん種に比べて低いことに加えて、がん検診受診者数が少ないことによる影響が大きい。引き続き、検診の体制整備とモニタリング評価を行う。 ・がん登録における早期がんの割合は5がんとも増加しており、目標を達成している。
がんが早期の段階で診断されている	がん登録における早期がんの割合 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	55.7% 52.7% 33.8% 63.8% 72.6% (H25)	59.9% 57.5% 37.4% 64.4% 80.7% (H27)	62.8% 60.4% 35.7% 66.5% 80.9% (H28)	61.2% 59.4% 36.2% 66.8% 80.3% (H29)	63.9% 60.5% 37.3% 62.7% 76.8% (H30)	64.9% 59.8% 36.8% 67.4% 80.9% (R1)	増加	A A A A A	

# 第3期奈良県がん対策推進計画 実施評価概要

## ③がん医療の充実

分野別アウトカム	指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価	評価結果
安全かつ安心な質の高い医療を受けている	5年相対生存率	—	—	60.2 (H23)	60.9 (H24)	60.2 (H25)	62.5 (H26)	増加 (12年後評価)	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年相対生存率は増加しているが12年後評価としているため、引き続きモニタリング評価を継続していく。</li> <li>・「がん患者が納得した治療を選択できている」の指標である患者意識調査の結果はいずれも増加している。</li> </ul>
がん患者が納得した治療を選択できている	医師による診療・治療内容に満足している	82.4% (H29)	—	—	—	86.6% (R3)	—	増加	A	
	診断や治療方針について、自分の疑問や意見を十分に医師に伝えられた	70.6% (H29)	—	—	—	72.5% (R3)	—	増加	C	
	がんの診断から治療開始までの状況を総合的に振り返り、自身が納得いく治療を選択することができた	86.0% (H29)	—	—	—	88.1% (R3)	—	増加	C	

## ④がんと診断されたときからの緩和ケア

分野別アウトカム	指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価	評価結果
身体的・精神的・社会的苦痛が緩和されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・からだの苦痛に対する希望に応じた緩和ケアの早い提供</li> <li>・症状改善の状況</li> </ul>	88.9% 59.3% (H29)	—	—	—	80.5% 66.7% (R3)	—	増加	D A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「からだの苦痛」「気持ちのつらさ」に対する緩和ケアが早い時期に提供されたと思う割合は、目標を達成できていないが、いずれも8割以上を維持している。また、緩和ケアによって症状が改善したと思う割合は、「からだの苦痛」に関しては目標を達成できているが、「気持ちのつらさ」に関しては横ばいであり、いずれも6割程度に留まっている。診断時から苦痛に合わせた緩和ケアが提供できるよう、引き続き質の向上と体制整備を行っていく。また、身体的・精神的苦痛に関する指標に加えて、社会的苦痛に関する指標についても設定が必要。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちのつらさに対する希望に応じた緩和ケアの早い提供</li> <li>・症状改善の状況</li> </ul>	86.0% 62.0% (H29)	—	—	—	84.3% 62.8% (R3)	—	増加	C C	

## ⑤地域連携

分野別アウトカム	指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価	評価結果
住み慣れた場所で、療養生活を送ることができる	がん患者の在宅死亡割合	17.5% (H27)	18.7% (H28)	20.1% (H29)	20.1% (H30)	19.6% (R1)	23.8% (R2)	増加	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者の在宅死亡割合は増加しており、目標を達成している。</li> <li>・在宅緩和ケアについて希望し、実現可能だと思う患者の割合は減少しており、目標を達成できていない。</li> <li>・各指標について、患者が希望した在宅医療を受け、望んだ場所で過ごせたかを計る指標とは言い切れないため、より適切な指標に変更することが必要。</li> </ul>
居住する地域にかかわらず、質の高い医療を受けられる	在宅緩和ケアについて希望し、実現可能	40.2% (H29)	—	—	—	34.1% (R3)	—	増加	D	

# 第3期奈良県がん対策推進計画 実施評価概要

## ⑥相談支援及び情報提供

分野別アウトカム	指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価	評価結果
がん患者の不安や悩みが軽減されている	がんと診断されたことによる心配や悩みは何らかの支援によって現在は軽減した	36.4% (H29)	- (H30)	- (R1)	- (R2)	39.3% (R3)	- (R4)	増加	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんと診断されたことによる心配や悩みは何らかの支援によって現在は軽減した割合は、増加しており、目標を達成している。</li> <li>・からだや治療のことで心配になったとき、担当医以外にも相談できるところがある割合は、横ばいであり、目標は未達成である。がん患者が診断早期からがんの心配や悩みを相談し、軽減できるようにすることが必要。引き続き、がん相談支援センターの認知度を上げ、利用者数を増加するように拠点病院等と連携して取り組みを進めることが必要。</li> </ul>
がん患者の不安や悩みの発生が抑えられている	からだや治療のことで心配になったとき、担当医以外にも相談できるところがある	32.3% (H29)	- (H30)	- (R1)	- (R2)	30.7% (R3)	- (R4)	増加	C	

## ⑦がん患者の就労を含めた社会的な問題

分野別アウトカム	指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価	評価結果
がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減されている	がんの治療を受けながら、働き続けられる環境だと思う	29.1% (H29)	- (H30)	- (R1)	- (R2)	33.6% (R3)	- (R4)	増加	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの治療を受けながら働き続けられる環境だと思う割合は増加しており、目標を達成している。</li> <li>・がんと診断され、検査や治療が進む中、仕事の継続に対する事業主の理解・支援が受けられた割合は減少し、横ばいである。就労支援において、がん患者がそれぞれの時期に応じたきめ細やかな支援を受け、就労を継続しながら治療を受けることができるよう、企業や職場でがん相談支援センターや就労相談窓口の周知啓発を行うとともに、就労支援に関わる関係者で意見交換を行い、連携を図ることが必要。</li> </ul>
がん患者が働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる	がんと診断され、検査や治療が進む中、仕事の継続に対する事業主の理解・支援が受けられた	78.9% (H29)	- (H30)	- (R1)	- (R2)	76.8% (R3)	- (R4)	増加	C	

# 第3期奈良県がん対策推進計画 実施評価概要

## ⑧がん登録

分野別アウトカム	指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価	評価結果
医療の質が向上している	5年相対生存率	-	-	60.2 (H23)	60.9 (H24)	60.2 (H25)	62.5 (H26)	増加 (12年後 評価)	C	・5年相対生存率は増加しているが12年後評価としているため、引き続きモニタリング評価を継続していく。

## ⑨がん教育・普及啓発

分野別アウトカム	指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価	評価結果
中学生、高校生におけるがんに関する知識の向上	早期発見すれば、がんは治りやすい ・事前 ・事後 ・向上率	92.8% 97.7% 4.9%	96.4% 98.5% 2.1%	96.5% 98.8% 2.3%	98.9% 100% 1.1%	95.4% 97.5% 2.1%	96.3% 97.0% 0.7%	向上率の改善 又は維持	A	・概ね目標を達成することができたが、「がんになっている人も過ごしやすい世の中にした」との指標が減少している。今後は、がんに関する正しい知識の習得だけでなく、がん患者への配慮や共に暮らしやすい環境づくりに向けた啓発を進める必要がある。また、「将来、たばこは吸わないでいようと思う」の指標が減少している。文部科学省学習指導要領の改訂により、中学校、高等学校において、教科「保健体育」「保健」の内容に「がん」を取り扱うことになったことで、がんに関する指導内容の幅が大きくなり、たばこについて詳しく指導できていないことが原因と考える。加えて、目標値を「向上率の改善又は維持」としていたが、より適切なものに改定する必要があると考える。
	がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようと思う ・事前 ・事後 ・向上率	82.4% 88.1% 5.7%	87.5% 90.7% 3.2%	88.9% 94.4% 5.5%	95.7% 99.7% 2.0%	90.7% 83.4% 3.6%	89.8% 93.4% 3.6%		A	
	がんになっている人も過ごしやすい世の中にした ・事前 ・事後 ・向上率	92.9% 96.0% 3.1%	89.9% 96.8% 6.9%	97.0% 96.8% -0.2%	99.7% 100.0% 0.3%	98.0% 97.1% -0.9%	97.1% 95.7% -1.4%		D	
	がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う ・事前 ・事後 ・向上率	77.7% 82.4% 4.7%	77.2% 83.4% 6.2%	79.2% 88.3% 9.1%	83.0% 89.5% 4.9%	84.6% 89.5% 4.9%	88.0% 89.7% 1.7%		A	
	将来、たばこは吸わないでいようと思う ・事前 ・事後 ・向上率	85.9% 93.7% 7.8%	95.8% 96.1% 0.3%	96.5% 96.9% 0.4%	100.0% 100.0% 0.0%	94.2% 92.4% 1.8%	96.3% 94.2% -2.1%		D	